

頃々死骸山の如く修して新と云けきと
さうさば誠は追慕と見えたりける其より遍照
心光の如く千日会佛開闢の道す師天台禪真
言の中より選ばりて大乗善提後の上人相具の
位位是然とて一定しける時宗の族申出でけ
るは遊移派の上人の躰念佛にうりて終に説法
の儀式なり他宗の風流を如何とせし漸く光
明寺上人と始め宗匠達の儀は説法の道す師の并
たははるべし殊に善提院の上人を天台一家の貴

長きば禪宗天台宗の中より諸法上手并古の人
然るべきに其元々の源佛の道す師にきき善提
院の上人善座より善提と持てはな睦の男
女も法宗の人多し其宗は分てしるも善提実
の隔るるは都て秘迹年を佛の諸法られば諸宗
皆釋尊の弟子なり然るに顕密禪の二宗を佛制
の戒定慧と事としけり又和上の淨土一向専ら日蓮宗
は名を自と事とありて是よりいふべし其の中も
明、戒定慧と心裁ける人も是とけり又顕密禪の年